

2022 年度

## web講習会

# 第 23 回 「LPガスバルク供給のためのセミナー」

## 開催のご案内



主催：(一社)日本エルピーガスプラント協会  
共催：日本 LP ガス 団体 協議会  
共催：全 国 LP ガス 協 会

本セミナーはバルク供給システムの導入が開始された 1997 年から実施し、今年度で23回目を迎えることとなりました。当初はバルク供給システムの導入、普及を図るためのバルク貯槽、バルクローリーの基準を主に取上げてきました。近年バルク貯槽の 20 年目告示検査(開放検査)を迎え、バルク貯槽を取り外すことが必要となることから、取り外し事例の課題とともに告示検査基準について取上げるなど、内容も進化しております。

本年度は、LP ガスの保安行政の動向、20 年告示検査時のバルク貯槽の入替事例に加え、特に 2021 年に発生したバルク貯槽本体下部腐食によるガス漏洩事故が、重大事故につながりかねないことを重く受け止め、バルク貯槽本体及び附属機器の正しい維持管理知識の習得を目的としています。なお変化する保安環境を理解するため 4 講習全ての受講をお勧めします。

本セミナーはインターネットを利用した Zoom ウェビナーで開催しますので、ご自分の事業所で受講が可能です。今回は、LPガス販売事業者、都道府県、消防の皆様に加えて、供給設備の点検業務を実施されている認定保安機関の方々にも必見の内容となっていますので、ご参加をお待ちしています。

**開催日程:2022 年 8 月 23 日(火)～25 日(木)**

### 1. 講習科目（担当講師）

#### A LPガス保安行政の最新動向 (経済産業省 安全保安グループ)

経済産業省より LP ガス保安行政の取組みとして経済産業省が推進している「液化石油ガス安全高度化 2030」の解説していただきます。これにより“今、販売事業者としてやるべき事は何か”を習得して頂きます。

#### B バルク貯槽本体の維持管理について (日本エルピーガスプラント協会)

バルク貯槽本体からの漏洩は重大事故につながりかねることから、事故防止の具体策としてバルク貯槽本体、特に外面腐食に係る腐食状況、外面塗装の維持管理、点検の重要性等について習得して頂きます。

#### C バルク貯槽用附属機器の維持管理について (日本エルピーガスプラント協会)

バルク貯槽の附属機器は開閉等操作を行うバルブや過充填防止のために液面計等が設置されています。この附属機器が原因となる事故防止のための異常を早期発見するための点検、及び定期的交換について習得して頂きます。

※「講習科目 D」はウラ側です。